

令和7年度第1回蒲郡市総合教育会議 会議録（要旨）

開催日時	令和7年8月27日（水）午後1時30分から午後2時30分まで																																				
開催場所	蒲郡市役所5階 庁議室																																				
出席者	<table> <tr> <td>蒲郡市長</td><td>鈴木 寿明</td></tr> <tr> <td>蒲郡市教育委員会</td><td></td></tr> <tr> <td>教育長</td><td>壁谷 幹朗</td></tr> <tr> <td>職務代理者</td><td>稲葉 千穂子</td></tr> <tr> <td>委員</td><td>田中 順</td></tr> <tr> <td>委員</td><td>松井 繁</td></tr> <tr> <td>委員</td><td>高橋 民枝</td></tr> <tr> <td>【オブザーバー】</td><td></td></tr> <tr> <td>企画部長</td><td>牧原 英治</td></tr> <tr> <td>総務部長</td><td>小田 剛宏</td></tr> <tr> <td>教育委員会教育部長</td><td>岡田 隆志</td></tr> <tr> <td>【説明者】</td><td></td></tr> <tr> <td>教育委員会事務次長兼学校教育課長</td><td>戒田 正敏</td></tr> <tr> <td>総務部資産マネジメント課長</td><td>下村 明</td></tr> <tr> <td>【事務局】</td><td></td></tr> <tr> <td>企画部次長兼企画政策課長</td><td>小田 芳弘</td></tr> <tr> <td>企画部企画政策課主幹</td><td>伊藤 次郎</td></tr> <tr> <td>企画部企画政策課主事</td><td>大桑 智子</td></tr> </table>	蒲郡市長	鈴木 寿明	蒲郡市教育委員会		教育長	壁谷 幹朗	職務代理者	稲葉 千穂子	委員	田中 順	委員	松井 繁	委員	高橋 民枝	【オブザーバー】		企画部長	牧原 英治	総務部長	小田 剛宏	教育委員会教育部長	岡田 隆志	【説明者】		教育委員会事務次長兼学校教育課長	戒田 正敏	総務部資産マネジメント課長	下村 明	【事務局】		企画部次長兼企画政策課長	小田 芳弘	企画部企画政策課主幹	伊藤 次郎	企画部企画政策課主事	大桑 智子
蒲郡市長	鈴木 寿明																																				
蒲郡市教育委員会																																					
教育長	壁谷 幹朗																																				
職務代理者	稲葉 千穂子																																				
委員	田中 順																																				
委員	松井 繁																																				
委員	高橋 民枝																																				
【オブザーバー】																																					
企画部長	牧原 英治																																				
総務部長	小田 剛宏																																				
教育委員会教育部長	岡田 隆志																																				
【説明者】																																					
教育委員会事務次長兼学校教育課長	戒田 正敏																																				
総務部資産マネジメント課長	下村 明																																				
【事務局】																																					
企画部次長兼企画政策課長	小田 芳弘																																				
企画部企画政策課主幹	伊藤 次郎																																				
企画部企画政策課主事	大桑 智子																																				
議事	1 GIGA スクール構想第2期を見据えた ICT の更なる活用について 2 小中学生の海外派遣事業について 3 地区個別計画にかかる中学校の在り方について																																				
会議資料	1 GIGA スクール構想第2期を見据えた ICT の更なる活用について 2 小中学生の海外派遣事業について 3 地区個別計画にかかる中学校の在り方について																																				
会議内容	1 GIGA スクール構想第2期を見据えた ICT の更なる活用について 【説明者：学校教育課】 GIGA スクール構想第2期を見据えた ICT の更なる活用について説明 【質疑・意見】 ・タブレットの導入により教員の負担は軽減されているのか。また、これで端末の機種が変わるが、現状の負担はどういう状況であるのか。 ⇒これまで授業の振り返りなど1冊ずつチェックしていた作業がタブレット端末1つで行えるようになったことで、見る時間などは短縮され、画面一つで子どもたちの学びを把握できるメリットは大きくなっている。また、子どもたちの学びを座席表に落とし込んでいた手間もなくなり、作業時間短縮につながっている。 その他に、デジタル採点システムなどを導入し、ICTを活用することで負担軽減されている部分もあるが、多様化する現状の中で抱えている仕事量は多々あるので、今後も働き方改革に繋がられるよう調査研究し、各学校でも工夫していく必要はあると思う。（学校教育課）																																				

	【委員の主な意見】 ・GIGA スクール構想の目的が実現できている場面を学校訪問でも見ることが多くなったが、一方で第一期の総括の課題で挙げられているネットワーク速度の向上が必要という声もよく耳にする。今後の方針としても最新技術を踏まえた環境整備とあるので、ネットワークインフラの環境の充実をお願いしたい。 ・GIGA スクール構想の当初は学校現場でも戸惑いがあったが、教員間での研修や知恵を出し合い取り組んでこられた成果として、授業の可能性や新しい発想が広がっていたと感じている。また、ICT 支援員などの人的支援による効果も大きく、今後もぜひ今後の活用や現場の要望に応えられるような取り組みを進めていただきたい。 ・昨今、教科書の重量が増えていることに加え、タブレットの持ち帰りなど子どもの負担が大きくなっています。子どもの通学にかかる負担が少しでも軽減されるようデジタル教科書の導入は是非とも進めていただきたい。 2 小中学生の海外派遣事業について 【説明者：学校教育課長】 小中学生の海外派遣事業について説明 【質疑・意見】 ・本事業は大変有意義なもので、できることなら続けていただきたい気持ちは十分にあるが、最近の物価高騰が今後何年続くかも分からない状況で費用対効果を考えると極めて難しいのではないかと感じる。 【委員の主な意見】 ・今までのご寄付や支援など、子どもたちに良い経験をさせていただき大変感謝している。水藤様の意向を受けて始まった事業ということもあり、この寄付金が終了する本年度で事業も終了するという考えもあるかと思う。事業費の獲得方法の不確定さや海外旅行費等の高騰もあるので、同じような形で実施することは慎重に検討し、他の形で経験させてあげられるものを一緒に考えたい。 ・子どもたちが非常に大きな経験を積み、随分と成長して帰って来るといふ非常に素晴らしい事業である。三河 14 市で小学生の海外派遣を実施しているのは本市だけであった。しかし、1 校 1 人ずつで毎年 13 人と参加できる子が非常に少数であることも費用対効果を考えると見直しする時期だと感じるので、いろんな選択肢を含めて、今後議論を進めていきたい。(教育長) ・国際感覚を身に着ける機会ではあるので、ICT の活用を通じた様々な国との交流も視野に入れながら、より多くの生徒が経験を身に付けられる方法なども考えていきたい。(市長) 3 地区個別計画にかかる中学校の在り方について
--	--

	【説明者：資産マネジメント課長】 地区個別計画にかかる中学校の在り方について説明 【質疑・意見】 ・今回の説明では中学校7校のお話で、小学校の数に関しては妥当ということでしょうか。 ⇒地区個別計画には小学校も計画の中に組み込んでいるので、中学校区だけでなく小学校の検討も必要と考えている。(資産マネジメント課) 【委員の主な意見】 ・魅力的なまちであるので、今後人口が増えることも想定されるのではないかと甘い期待もある。学校数の減少により、蒲郡で子どもを産みたい、また戻りたいという方の減少にも繋がる懸念があるので、よく検討していただきたい。 ・現在、中学校区7地区で地域協働活動やコミュニティスクールといった地域とともにある学校づくりが進んできている。今までも実施いただいたように地域の特性や特徴を反映して、地域にとって良い街づくりにつながるように地区の皆様のご意見を伺う機会や対話の時間をとっていただき、慎重に検討を進めていただけると有難い。 ・温暖化の影響で気温も上昇する中で、重いものを背負って通っている中で、さらに学校が集約されることで、子どもの通学の距離が長くなることが想定される。スクールバスがあると低学年でも通うことができるが、市の財源や交通安全のリスクなどが高まるので総合的に考えていただきたい。また、災害時の避難所や地域コミュニティの中心であることなど、効率化の話だけでなくいろんなことを考えて進めていただきたい。 ・地域学校協働活動のお知らせなどから、以前にも増して地域と学校の結びつきが深くなっていることがよく分かる。また、中学生が地域の一員としての役割を担っており、その存在もすごく大きくなってきています。今関係性が出来ている地域において、中学校・学校の結びつきがどうなるのかを地域の方々からの声をよく聞いて考えてほしい。 ・現在、35人学級で試算しているが、2050年においてはより少人数の学級編成になることが予想される。他の自治体でも30人学級や25人学級を取り入れているところもあり、人口減少とあわせて学級編成の変化も念頭において考える必要がある。(教育長) ・子どもたちの適した環境については、通学時間・通学距離をはじめ、学級編成のことなど多くの検討事項がある。蒲郡市の地勢・地形や地域との結びつきを重視したコミュニティの在り方を含めて、慎重に考えていくべきだと思う。教育現場や地域の方々のご意見を丁寧に聞きながら、意見を交わしながら、今後検討してまいりたい。(市長)
--	--